

中国デジタルプロモーション実施業務 プロポーザル審査結果

令和4年5月27日に書面開催した審査委員会において、評価基準に基づき審査を行った結果、評価点合計の最も高い者1者を受託候補者とし、次のとおり決定しました。

- 企画提案者（5者）
[50音順]
- ・インタセクト・コミュニケーションズ株式会社
 - ・ゼストプロ株式会社
 - ・株式会社T Sメディア
 - ・日本航空株式会社
 - ・株式会社BalanceLife

受託候補者
東京都千代田区神田小川町三丁目1番地B・Mビル2階
インタセクト・コミュニケーションズ株式会社
代表取締役社長 譚 玉峰

（単位：点）

審査項目	配点	インタセクト・コミュニケーションズ株式会社	2位	3位	4位	5位
1. 企画提案に関する項目						
構築するWechatのミニプログラムは本市の魅力を効果的に配信する内容となっているか。	60	52	/	/	/	/
動画配信について、内容、配信回数、また想定される効果（再生数等）は妥当か。	60	48				
ライブ配信について、内容、実施回数、また想定される効果（視聴数など）は妥当か。	60	44				
越境ECについて、掲載される事業者の確保等に対する十分な対策がとられており、また販促プロモーションは適切に実施されるか。	30	28				
実施スケジュールは実効性があり妥当か。	30	18				
2. 提案価格に関する項目						
提案内容が適切に計上されているか。	30	22	/	/	/	/
3. 事業者に関する項目						
事業を適切に実施できる体制があり、類似事業に取り組んだ実績があるか。	30	28	/	/	/	/
合計	300	240				

審査委員会委員
高松 義彦（（一社）函館国際観光コンベンション協会係長）
坂本 紫具磨（函館商工会議所地域振興課）
笹野 康幸（北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官）